

加古川西部地域

水と緑のウォーキングマップ～歩いて見つける歴史編～

里山の緑や池の水を身近に感じると、なぜか心も体もウキウキします。このマップでは、加古川西部地域の自然や街並み、歴史に触れることができるコースをご紹介します。ウォーキングは、あなたを今までに見たことのない景色へと導くでしょう。また、友人や家族と歩くことでさらに楽しいひと時になることでしょう。さあ、あなたもこのマップと一緒に加古川西部地域へ出かけてみませんか？

ウォーキングの心得（注意点）

- 動きやすい服装で出かけましょう。
- 適宜水分補給をしましょう。
- 崖や用水路など、危ないところには近づかないようにしましょう。
- 交通量が多いところもあります。車に注意しましょう。
- とっていいのは写真だけ、残していいのは思いだけ。
- バスの本数が少ないので、時刻を確認しておき、余裕を持って行動しましょう。
- ウォーキングを楽しむ心を忘れないようにしましょう。

神吉地区

①常楽寺（旧神吉城）



かつて東神吉町神吉地区には神吉城がありました。河岸段丘の段丘崖の斜面が防衛に利用されていたといわれています。1578年志方城落城に先立つ約20日間の織田軍との攻防の末、落城しました。

②那須与一地蔵



昔播磨の人の夢に那須与一が現れ、半折れの石仏が自分の像であるというお告げがありました。それがこの石仏で、この話が広まり、毎月7日に多くの人がお参りするようになりました。現在でもお参りする人がみられます。

神吉山

⑤日露記念碑



この石碑には、東神吉町、西神吉町出身者で、日露戦役、西南戦役、日清戦役で戦没した人や、日露戦役に従事した人の名前が刻まれています。

⑦中山記念碑



神吉山は明治維新の時は官有地でしたが、他県在住者に払い下げられました。しかし神吉村民の寄付により買い戻され、村の土地になりました。このことを記念してこの碑が1904年に建てられました。

③四部延命地藏尊地藏堂



神吉公民館の向かいにあるこの御堂の由来は不明ですが、江戸時代初期に建造されたものといわれています。

④真宗寺



旧神吉城が落城した後、近隣の寺院の本堂などを移築して真宗寺が創建されたと伝えられています。

⑥西国三十三カ所観世堂



神吉城落城後に散逸していましたが、1933年に有志によって再建されました。「三十三」という数字は、観音菩薩が命あるもの全てを救うときに33の姿に変化することから、使われています。

⑨行者山の行者菩薩と不動明王



行者山の名前は古くからあるそうです。明治時代に大破して残っていた基礎石に1933年に行者菩薩と不動明王の石像が再建されました。

宮前地区

⑩宮前宮山古墳群

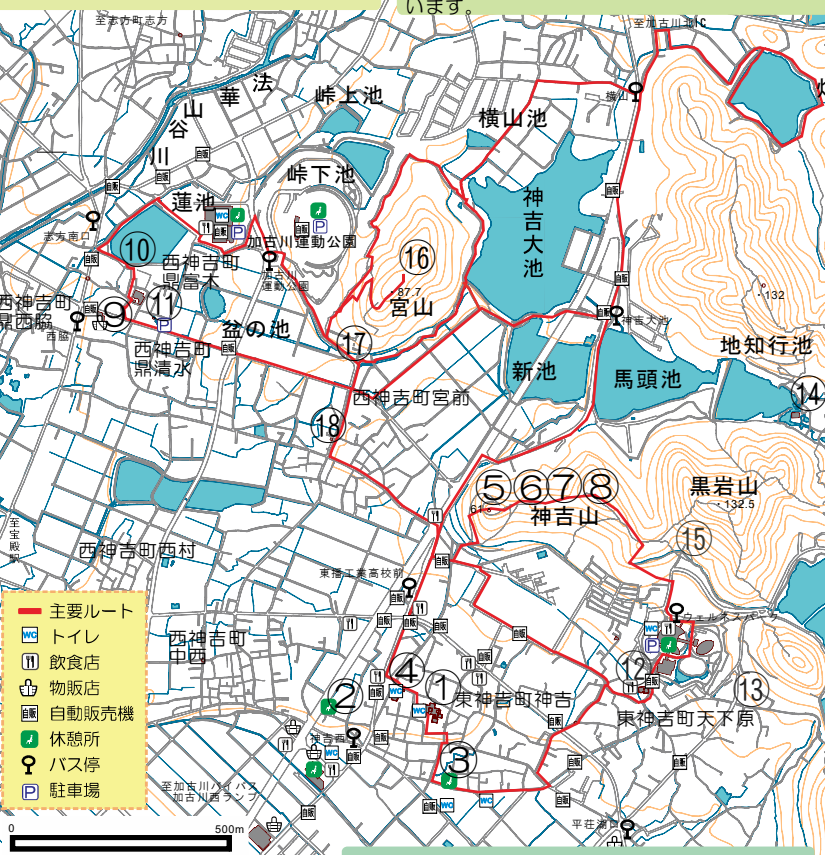


宮山の山頂にあるこの古墳群は3基の古墳でできていて、それぞれ1号から3号という名称がついています。加古川西岸の古墳時代を考えるうえで、貴重な古墳群と言われています。

⑪神吉八幡神社



毎年10月の体育の日の前日の土日に秋祭りが催されます。神社に残る江戸時代後期の絵巻物に、盛大な祭礼行列の様子が描かれています。1575年に神吉城最後の城主神吉頼定が寄進した石灯籠が残ります。



天下原地区

⑫宮前地藏堂の石棺仏と石棺



この石仏は南北朝時代のもので、出家修行者が着用する衲衣（のうえ）を身にまとった阿弥陀如来が彫られています。古墳時代の家形石棺の蓋石で、石板は組み合わせ式石棺の底石の部材です。

⑬大歳神社（毘沙門天）



この神社は、1846年に建造されました。黒岩山の岩肌彫刻された摩崖仏の毘沙門天が本尊として祀られています。この場所は、春に花見ができ、秋には紅葉を楽しむことができます。

⑬こけ地蔵



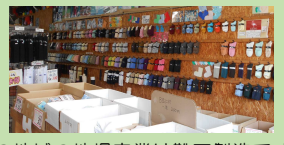
陰陽師として知られる芦屋道満ゆかりの地蔵です。この地蔵は、何度起こしても前に倒れます。その様子からこけ地蔵と呼ばれています。

⑭本岡家住宅



1969年に兵庫県指定有形文化財に指定されました。兵庫県内では建築年代が明らかな民家としては、この住宅が最も古く、江戸時代初期の建築様式を知ることができず。事前に申し込みが必要です。

⑩地場産業の靴下



この地域の地場産業は靴下製造です。楸トミキでは靴下を直販しています。紳士・婦人・シルク製・五本指などさまざまな靴下を販売しています。

⑩観音堂



1892年頃に大きな干ばつがあり、干上がった鶴池（現在の蓮池）の池の底から現れたお地藏さんをきれいに洗い祭りをしたところ雨が降ったという逸話があります。

⑪南宗寺



この寺は500年前からあります。昔は藁葺の小さな建物でしたが、約200年前に本堂が再建されて現在に至ります。

⑫明園寺の五輪塔



この五輪塔は凝灰石でできていて、火輪のみ花崗岩でできています。地輪に歴応四(1342)年とかかれていますことから、南北朝時代に造立されました。